

子供の成長につながらる インターネット活用

インターネットのトラブルは確かに怖い。しかし、それを怖れて子供たちから隔離してしまうのは早計だ。インターネットは正しい使い方をさえ心がければ、子供にとってまたとない教育ツールとなる可能性も秘めている。

望月なを子さん

学校インターネット教育推進協会 事務局



**Web教材を
子供たちだけで
作ることが
何よりの社会勉強に**

生徒が主体となって行う
Web教材作りの
コンテスト

私たちが主催している「全日本中学校Web教材開発コンテストThinkQuest JAPAN」は、中高生の生徒3〜6人と先生がチームを組んで、自分たちの好きなテーマでWeb教材を作り一般公開するコンテストです。作品は、ほかの生徒たちや閲覧者が学ぶことができる「教材」でなければならぬというのが、応募条件になっており、どのようにして情報収集したのか、どのようなチームワークで作り上げたのかといった作品制作の過程が、審査の対象になります。コーチとして先生も参加しますが、企画構成から実制作までをすべて子供だけで行うのがこのコンテストの特徴です。

自分たちで作って
公開するという責任が
子供の社会勉強に役立つ

「調べ学習」という言葉がありますが、ThinkQuestは、ただ調べるだけでなく、調べた内容を、どう説明すれば相手にとってわかりやすいか、という観点で作る点に大きな価値があります。自分たちが発信する情報が、インターネットで全世界に公開されるということにより、情報に対する責任を学ぶとともに、その情報に対する深い理解を得ることができます。

また、学校や家庭の中で、インターネット上のルールやマナー、また著作権について学

ぶチャンスは多々あるかと思いますが、実際にそれを行動に移すというチャンスは少ないのではないのでしょうか。その点、ThinkQuestでは作品を作っていく中で、取材依頼や著作者の許諾を通して、学校の外の人たちとインターネット上でやりとりをするという経験ができる場もあります。断られることや注意を受けることもあるかもしれませんが、そのような実体験を通して、情報社会に参加していくことができるということは、これからの子供たちにとって非常に意義のある機会と考えられています。

ThinkQuestを通じて
子供たちが
将来の進路を
見つけることも

このコンテストで約半年間、仲間と一緒に同じ課題に取り組んだ経験は、子供たちにやりたいことを見つけるきっかけにもなっています。例えば、作品を作る過程でデザインのおもしろさに目覚めた子供がクリエイティブ関連の仕事を目指したり、著作権に興味を持った子供が、法学部に進んだりしています。また、海外の人たちにも見てもらいたいと英語ページを作成した子供たちが、英語の重要性や楽しさに触れ、国際関係や語学関係の道に進んだという話も聞いています。

インターネットによって子供たちは社会と接し、出会ったことのない人と交流し、Web制作を通じて実務やチームワークを経験することができます。大人がそれを見守りさえすれば、インターネットは子供にとってまたとない教育ツールとなり、将来の人材育成に役立つのではないのでしょうか。

子供たちが自ら構成や見せ方を考え、調べたり資料集めをしたりして作り上げた「ThinkQuest」の応募作品。その内容は大人ももうなる充実ぶりだ。

「進化Quest」

ThinkQuest@JAPAN2009

【中学生の部】

最優秀賞／プラチナ賞／文部科学大臣賞／日本オラクル特別賞 受賞作品

読み物、ゲーム、クイズとさまざまな切り口で生物の進化が学べる



進化Quest → <http://shinkaquest.jp/>

香川県さぬき市の中学3年生3人によって制作されたWebサイト。自分たちの町で日本最古のナマズの化石が発見されたことから、「古代生物と進化」をテーマに野外調査やアンケートなどさまざまな方法で情報収集を進め、わかりやすくまとめている。ただ調べた情報をまとめて見せるだけでなく、実際に化石を探したり、古代魚を飼ったりするなどの体験レポートを盛り込んであるほか、自作のゲームやクイズで閲覧者が楽しめる仕掛けも用意されており、随所に工夫が感じられる点が評価された。



「進化Quest」を制作したさぬき市立大川第一中学校のチーム。左から頼富亮介くん、小倉和也くん、坂東秀人くん

ThinkQuestに参加した中高生と先生の声

「全世界の人に
見られてしまうからこそ
気が引き締まる」

ホームページを公開し、外の人から指摘を受けるという経験が新鮮です。ただ自分たちで勝手に作成すればいいというわけではないので、より正確で新しい情報を、ホームページを訪れてくれた人に伝えたい、という気持ちが高まりました。

(2004年参加・生徒)

「写真の
掲載許可を取る経験は
貴重でした」

写真の著作権の関係上、掲載許可をいただくために各所に多くのメールを送ったことが貴重な経験でした。こちらの熱意が通じて、「どうぞ素敵なホームページにして最後まで頑張ってください!」と逆にエールまでいただいたこともありました。

(2007年参加・生徒)

「子供たちが課題を
自力で乗り越え
ぐんと成長するのを実感」

Webコンテンツでホームページ制作を進めていくうちに、子供たちはさまざまな課題に直面します。しかし、それを乗り越えるべく試行錯誤をしていく中で、どんどん伸びていくんですね。ですから、エントリー当初と最後に作品を提出した時の、子供の顔つきや考え方、スキルなどは随分変わるんですよ。

(1998～2009年参加・コーチ)

全日本中学高校Web教材開発コンテスト ThinkQuest JAPAN

中学生3～6名と大人のコーチ1名でチームを組み、約半年かけてWeb教材を制作するコンテスト。1995年に米国でスタートし、日本を始め世界各国で開催されている。ホームページのでき映えだけでなく、チームワークや資料収集方法など、制作過程も審査対象になる。現在第12回コンテストの参加者を募集中。

ThinkQuest → <http://thinkquest.jp/>

主催：特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会